

## 授業科目

## 義肢装具学

担当教員名 相馬 俊雄、齊藤 慧、犬飼 康人、大山 峰生、須田 裕紀	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

## 授業の概要

義肢装具の概念とその歴史を解説し、義肢装具の種類・構造・適応について理解する。また疾患別のリハビリテーションや義肢装具に関する諸制度とその運用についても理解を深める。

## 授業の目的

理学療法における装具・義足を必要とする対象疾患は多岐にわたる。本授業科目では、装具・義足の対象疾患の病態の把握、身体機能の評価・治療、そして日常生活への応用について、理学療法士にとって必要不可欠な知識を習得する。

## 学習目標

1. 義肢装具の分類と名称および構造について説明できる。
2. 健常歩行と義足歩行および装具歩行のメカニズムについて説明できる。
3. 義肢装具の適応および義肢装具のアライメントの調整について説明できる。
4. 義肢装具に関連する諸制度について説明できる。
5. 義肢装具に関する理学療法プログラムについて説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	装具のリハビリテーション（総論）	講義：装具の概念と分類、リハビリテーション	相馬 俊雄
2	義肢のリハビリテーション（総論）	講義：義肢の概念と分類、リハビリテーション	相馬 俊雄
3	上肢装具、スプリントの適応	講義：手の外科領域の上肢装具、スプリントの適応	大山 峰生
4	上肢装具、スプリントのリハビリテーション	講義：手の外科領域の上肢装具、スプリントの評価、治療、ADLへの応用	大山 峰生
5	義足のリハビリテーション1	講義：大腿・下腿義足の種類、構造	須田 裕紀
6	義足のリハビリテーション2	講義：大腿・下腿義足のソケット、アライメント、継手の機能	須田 裕紀
7	下肢装具の適応	講義：長下肢装具、プラスチック製短下肢装具の適応	犬飼 康人
8	下肢装具の評価	講義：長下肢装具、プラスチック製短下肢装具の評価	犬飼 康人
9	下肢装具の治療	講義：長下肢装具、プラスチック製短下肢装具の治療	犬飼 康人
10	下肢装具のADLへの応用	講義：長下肢装具、プラスチック製短下肢装具のADLへの応用	犬飼 康人
11	装具・義足歩行のバイオメカニクス	講義：装具・義足歩行の分析、異常歩行	相馬 俊雄
12	大腿・下腿義足の評価	講義：下肢（大腿・下腿）切断と義足の種類、適応、評価	須田 裕紀
13	大腿・下腿義足の治療	講義：下肢（大腿・下腿）切断と義足の治療	須田 裕紀
14	体幹装具の評価と治療	講義：体幹装具の種類、適応、評価、治療	齊藤 慧
15	義足のADL	講義：義足患者のADL	齊藤 慧

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 装具学	石川 朗、佐竹将宏、橋 元隆	中山書 店	2011 年	2,400円+ 税	
	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 義肢学	石川 朗、永富史子	中山書 店	2011 年	2,400円+ 税	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

定期試験

## 履修上の留意点

## オフィスアワー・連絡先

【相馬】（日時）火・木の14：00～18：00、（研究室）研究棟2（E棟）E201a、（連絡先：E-mail）soma@nuhw.ac.jp

【齊藤】（日時）火・金の10:00～13:00、（研究室）研究棟2（E棟）E110、（連絡先：E-mail）kei-saito@nuhw.ac.jp

【犬飼】（日時）水・金のAM、（研究室）研究棟2（E棟）E210、（連絡先：E-mail）inukai@nuhw.ac.jp

【大山】（日時）月・木の10：00～12：00、その他は17：00～18：00（連絡先：E-mail）oyama@nuhw.ac.jp

【須田】（日時）火曜終日、水曜午前、（連絡先：E-mail）suda@nuhw.ac.jp